

令和4年度第1回蟹江町総合教育会議 議事録

開催日時	令和4年7月7日（木）午後1時30分～2時30分
場 所	中央公民館 第3会議室
出席者等	町長 部 局：横江町長、政策推進室長、政策推進課長、同課主事 教育委員会：服部教育長、森田教育長職務代理者、山田委員、佐藤委員、太田委員、教育部次長兼教育課長、同課主幹、同課主任
報 告 者	政策推進室政策推進課
傍 聴 者	なし

○開会

1 あいさつ

（町長）

改めましてこんにちは、短めに挨拶させていただきます。大変お暑い中、第1回蟹江町総合教育会議に出席いただきましてありがとうございます。教育現場、行政現場も含めて状況が変わっています。議会が終わりましたが、参議院選挙の真最中ですので、もしかしたら新たな内閣が編成されるかもしれません。そんな中で大型補正予算が9月に組まれるのではと思っています。コロナ禍については非常に厳しい状態が続いています。知事が毎日会見の中で危機的な状況に近いような話をされるたびにマスコミが敏感になって様々な報道を伝えてきます。我々は一言一句に対して反応するわけにはいかない状況にあることをご理解いただきたいです。この後行われる中学生の交流事業や町民まつり、須成祭や地域のお祭りも含めて団体で行われる行事が目白押しですので、そういった意味でも厳しい状況が続くのではと思います。4回目のワクチン接種が始まりますので、高齢者の方には一日でも早く接種していただきたいです。3回目を接種していない方もできれば接種して免疫力を高めてほしいです。

教育委員の皆様方には公私に渡り、行政にお力添えいただいておりますことを感謝しつつ、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

（教育長）

令和4年度第1回蟹江町総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。コロナ感染者が最近多くなってきており、特に小学生が多いです。報道されている感染者数の半数近くが小学生です。今日は1人、昨日が8人、一昨日が10人感染しています。ただクラスターのような形ではなく、家族から感染しているので、日々の生活では十分な対策をとりながら教育活動ができていると思います。学校に感謝しております。本日はよろしく申し上げます。

2 報告事項

(1) 広島平和記念式典中学生派遣事業について

（事務局）

広島平和記念式典への派遣ですが、広島事務局から、今年は規模を縮小して開催すると連絡がありました。3年ぶりとなりますが、8月5日、6日の1泊2日で、蟹江中学校、蟹江北中学校から合計9名の生徒を蟹江町の代表として派遣し、「広島平和記念式典中学生派遣事業」を実施してまいります。

代表の中学生たちは式典参列の他にも広島平和記念資料館の見学、同世代の生徒たちと平和について学ぶ研修会などに参加し、戦争の悲惨さと命の大切さを学びます。その後、代表派遣団には、今回の平和記念式典派遣事業で学んだことを各中学校の文化祭などで報告していただく予定でいます。

また、今年も図書館で原爆パネル展を開催します。昨今のウクライナ情勢もありますので、広島県及び長崎県の実験パネル写真を展示することで、町民の皆さまに戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さについて考えていただく機会を提供してまいります。期間は、8月3日から30日までになります。以上が平和行政の取り組みになります。

(2) まちづくりミーティングについて

(事務局)

こちら3年ぶりの開催となりました。コロナ禍でも開催できるようにオンラインの準備もしていましたが、無事対面により開催ができました。中学2年生を対象に先週の月曜日の6月27日に蟹江中学校で、今週月曜日の7月4日には、蟹江北中学校で「10年後の蟹江町」をテーマに、生徒さんと町長が直接、蟹江町の将来について意見交換する機会を設けました。

生徒からは「中学生が参加できるボランティア活動」や「尾張温泉周辺の観光地化」、「踏切の渋滞緩和」、「南海トラフ地震に備えた町の施策」についてなど、地域の活性化やまちづくりに関する質問をいただきました。また、「なぜ町長になろうと思ったのか」といった将来を考える質問もいただきました。各中学校の質問は別添資料のとおりとなります。

(町長)

まちづくりミーティングが終了し、色々なことが分かりました。蟹江中学校の体育館が非常に暑いこと、数年前と比べると中学校の生徒の質問が鋭いこと、学校によって生徒の感覚が違ってくこと、この3つを改めて感じました。3年前と比べると質問の内容が非常に広範囲になっており、具体性があり、一瞬たりとも気が抜けない有意義な話し合いでした。反省文と感想文も読みましたが、私の言ったことがしっかりと理解されていたことを嬉しく思いました。もっと頑張ろうという気になったのは自分だけでなく、副町長や職員も同じ気持ちだったと思います。残念ながらやろうと思ってもできない、非常に難しいことについては課題として残ったことも事実ですので教育委員の皆様におかれましては、一度読んでいただいて、何かありましたら教えてください。

(3) 中学生海外派遣交流事業の中止について

(事務局)

こちらの事業については、新型コロナウイルス感染症の状況を考えますと、派遣する生徒の安全面の確保が難しいため、今年度は難しいと感じています。もうしばらく状況を見ながら最終判断したいと思っています。

渡航が難しい状況ではありますが、マリオン市との縁を繋げていく必要があると思いますので、生徒同士の交流というのを何かできないか、時差の関係でオンライン交流は難しいので、今回はビデオレターを通して生徒同士の交流を図りたいと思います。町内の施設や観光スポット、学校生活の様子など自分たちの中学校を紹介する動画を作成してもらって、マリオン市にビデオレターとして送りたいと思っています。蟹江町や日本の歴史・文化、マリオン市についての調べ学習を通して、郷土への愛着や国際的な価値観を育むとともに、英語によるナレーションや字幕を作ってもらうことで、英語学習の一助に

なればと考えております。ALT を活用しながら取り組んでもらえたらと思いますので、中学校と打ち合わせしながら進めてまいります

3 議題

(1) 教育委員会の主な予算について

(教育部次長)

施設整備事業について、須西小学校のトイレ改修工事ですが、3年度の予算を繰り越し、金額は9,658万円です。北館階段の横にあるトイレを1階から3階まで改修します。男子の洋式トイレを3基、女子の洋式トイレを12基、多目的トイレ3基を改修します。工期は12月までを予定しています。次に学戸小学校のトイレ改修工事ですが、金額は7,645万円です。南館の1階から3階中央階段横のトイレを男子の洋式トイレが3基、女子の洋式トイレが12基、多目的トイレ3基を改修します。工期は同じく12月までの予定です。今年度の工事が終わると町全体の洋式率が60.3%になります。当初の目標60%を超えることとなりますが、全国的に見るともう少し頑張っていきたいと思いますので補助金等も活用しながら検討してまいります。

学校教育支援事業について、令和4年度からの新規事業としてスクールソーシャルワーカー配置事業を行っています。一日3時間、午後から小中学校へ各1校出向いて、不登校児童生徒の問題を中心に相談、支援活動をしています。事業が開始して3か月が経過しましたが、これまで約20名の児童に対して、継続的に巡回を行っています。今後も状況を確認しながら事業拡大に向けて進めていきたいと思っております。

小中学校ICT機器借上ですが、5年間リースとなっております、昨年度と同様の予算となっております。各小中学校のタブレット機器を使いICT授業で有効活用しているところです。また今週火曜日と水曜日に須西小学校5年生が名古屋場所に来ている高砂部屋の朝稽古を見学し、自分のタブレットに力士たちの激しい稽古姿を写真や動画に収めています。

スクールサポーター事業は、学校現場からの時間数の増加に対応するため、昨年度同様に増額の予算としています。引き続き、特別な支援が必要な児童生徒や外国にルーツを持つ児童生徒への指導を行っています。

外国語指導助手（ALT）派遣事業は今年度から3年間の継続契約を締結して派遣人数を3名に増員しました。これまでは小中学校で各1名の合計2名でしたが、小学校2名、中学校1名の合計3名の体制となりました。生きた英語に触れることができる時間が多くなりました。また夏休みにはイングリッシュサマーinかにえ、というものが8月30日に小学生高学年児童と中学生生徒の各30名を対象にイングリッシュキャンプ、ミニキャンプを実施します。

次に生涯学習課の関係になりますが、文化財保存活用地域計画が策定目標の最終年度である三年目を迎えます。昨年度は文化庁から担当職員が蟹江町にみえて実際に町内の文化財等を見学していただき、本格的な策定に向けての打ち合わせや調整等を行っているところです。年末にはパブリックコメントを実施して年度末には計画書を作成します。

最後に図書館関係になりますが、学校図書館システム整備事業について、昨年度末までに小学校へのシステム整備が完了し、今年度は中学校への整備となります。夏休み明けの9月に整備が完了する予定です。すでにシステム運用している小学校では、読書率の向上につながっており、本を借りに来る子供たちで図書室が混雑する状況です。また、さらに充実させるために来年度以降、学校司書の配置も検討

していきたいと思っています。

(2) 町立小中学校における現況について

(教育課主幹)

令和4年度学校教育等に関する行事・事業一覧の4月から8月についてです。昨年度、一昨年度と異なり、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施をする方向です。須成祭等規模縮小して開催予定となっております。学校訪問ですが、昨年度と同様にコロナ対策をしながら予定通り進んでいます。学習活動にも安全確保のために制限がありますが、先生方の指導の下に一生懸命学習に取り組んでいる子どもたちの様子が伝わってきております。タブレットやプロジェクター等ICT機器を効果的に取り入れた授業が各学校で見られました。今後も子どもたちの様子を掴むために学校訪問を続けていきたいと思っています。

教育委員会議ですが、4月から始まり、予定どおり行われています。諸会議については、海部地方教育事務協議会が4月と6月に1回ずつ、7月8日には海部南部教育委員会研修協議会が行われる予定となっております。町校長・教頭会議ですが、昨年度から校長先生だけの会議も開催するようになっております。4月から7月まで計4回の会議が行われております。

次に生徒指導上の諸問題に関する調査結果について、暴力行為の発生件数ですが、令和3年度は1件、小学校で生徒間の暴力がありました。先生方の指導により問題解決に至り、年々減少傾向となっております。いじめの発生件数ですが、令和3年度は小学校で23件、中学校で3件となっております。令和元年度から一気に増えているように見えますが、県がいじめと疑わしいものも含めてすべて報告するようにしているため、数値としては多くなってきています。いじめの発生件数は令和に入ってから多くなってきていますが、ほとんどの案件は解決の方向に進んでいます。いじめの解消までに至らなかった件につきましても、今年度に引き続いて対応を進めております。不登校の発生件数ですが、小学校は約1,830名の内22名、全体の約1%強が不登校です。中学校は約960名の内39名、約4.1%が不登校です。現状の不登校の報告ですが、30日以上欠席した児童生徒の報告件数が若干上がってきています。特に中学生での不登校が増加傾向にあります。全国的にも小中学生の不登校率が年々増加傾向にあり、蟹江町でも同じ傾向です。学校では複数人で組織的に問題に対応し、専門家の意見を取り入れるなど丁寧な生徒指導を行っております。

ひとり親の家庭数調査ですが、今年度の数字は昨年度と比べて微増となっております。小中学校合わせて11.5人に1人がひとり親の家庭であることが分かります。

携帯電話所有状況と利用状況調べについてですが、学年が上がるにつれて所有率が高くなっています。また、SNSは利用せず、電話しか使わないという生徒は学年が上がるにつれて少なくなっています。逆に、両方の機能を使う生徒は学年が上がるにつれて多くなっています。これらは毎年同じような傾向となっております。自分専用のSNS機器を所有している人数について、パソコンやスマートフォンを含めたSNS機器は学年が上がるにつれて所有率、使用率が上がっています。保護者から申し出があり、学校に携帯電話を持ってくることを許可している児童生徒数については、特殊な家庭事情で連絡を取らなければならない場合のみ学校に携帯電話を持ってくることを許可していますが、昨年度の半分に減少しております。このことは、ご家庭が学校の指導をご理解していることかと思えます。

自分専用の携帯電話を週2日以上使っている生徒は、学年が上がるにつれて使用する総時間も例年同様に増加傾向にあることがわかります。

3 その他

特にありません

4 意見交換

(町長)

タブレット端末を使ったさまざまな問題が出てくるのではないかと思います。SNSを使った誹謗中傷も常習化してくるのではないかと危惧はしていますが、資料を見ていると、傾向はあるけれどそこまで緊迫感を持って対応しなくてもいいのではないかと思います。SNSを使うということは有意義ですが、その反面違うこともあるよ、ということをしっかり教えていただく必要があります。

蟹江町の議会がタブレット対応しています。しかし実際は、資料をペーパーで欲しいという議員さんや予算書や決算書は比較しにくいのでペーパーでほしいという議員さんが大半で、ペーパーレスにはならないのではないかと思います。

子どもの頃から目の前にSNS、携帯があり我々の時代とは違います。使い方を間違えると犯罪に巻き込まれたり、誹謗中傷が自分に向かってきます。先生に対してもICT教育をしっかり進めていきたいと思っています。

(森田教育長職務代理者)

SNSについて、誹謗中傷等で法律が厳罰化しており、中学生のいじめの大半は携帯電話ということも聞きます。厳罰化が中学生にあてはまるかは分かりませんが、指導は学校の先生を通じてぜひ行っていただきたいです。学校訪問をすると、GIGAスクール構想に沿った授業を先生方が行っていました。私が通っていたときの授業内容とは大きく変わり、低学年の児童も画面を触って、様々な工夫をしているなと思い、年々より質の高い授業になってきていると思います。学校教育現場の整備について、先日、須西小学校へ学校訪問に行った際に、来年は1クラス増えるという話を聞きました。少子化時代の中、蟹江町の教育現場では生徒が増える状況にあります。それは市街化を目指してきたJR蟹江駅周辺地区の再開発、源氏、才勝等に新たな家が建って、数年後には子どもも増えて学校へ行く児童も増えていくと思います。このような蟹江町ですので、お金はかかりますが、体育館や特別教室の空調設備等を整えていただきたいです。またスクールサポーターも増やしていただき、人の手も実際に子どもたちを見る目も増えました。引き続きハード面もソフト面も兼ね備えていただくようよろしくお願いします。

(町長)

特別教室については、すべての教室にまだ空調の整備ができていません。地球環境の温暖化を含めた気候変動が顕著に現れている状況の中で、様々なデータを集めているところです。このあたりは取水期になると厳しい状態になるのは分かっていますので、ハード面の排水機の更新等は相当早く行っていますが、それに伴って、建物の耐震化、長寿命化、そしてエアコンを含めた設備等の更新を含めて、遅れているところも多くあります。教育委員会と話をしながら体育館の冷房については、社会教育施設としてのやり方より、防災の関連からやったほうがいいのではないかと思います。優先順位がありますので、限られた予算の中で何ができるか考えて実行していきたいと思っています。スクールサポーターについては、できる範囲で進めていきたいです。ALTについては、教育委員会としっかり話をし予算の確保に努めていきたいと思っています。

(山田教育委員)

森田教育長職務代理者がおっしゃられたように、私も先日蟹江小学校へ学校訪問に行ってきました。図工室に扇風機が置いてありましたが、それでも暑かった所以他们の教室にもぜひ冷房の整備をお願い

いします。

また、8月末にあるイングリッシュキャンプ、ミニキャンプとはどのようなものですか。

(教育課主任)

午前中を小学校5、6年生、午後からを中学校1年生から3年生を対象として、2時間ずつを予定しています。午前中の小学生の部は、英語を使って遊びをしようというもので、楽しく遊びながら英語を学びます。ALTの契約をしている会社から、5、6名の外国人講師に来ていただきます。午後からの中学生の部では、中学生の夏休みの思い出や日本ではどのように過ごしているか等を英語でグループに分かれて話をします。

(山田教育委員)

人数は何人ぐらいですか

(教育課主任)

午前と午後各30人です。

(山田教育委員)

場所はどこでしょうか。

(教育課主任)

産業文化会館の4階です。

(山田教育委員)

小学校高学年になると英語を色々と学びますので、参加される方が多くいると思います。良い機会だと思うので続くようにお願いします。

(佐藤教育委員)

スマートフォンやタブレットは、私たちの生活の中に入り込んできています。先日、KDDIが全く使えない状態になり困った人もいますが、スマートフォンやタブレットが使えないと生活ができない可能性もありますので、今後子ども達も就職先等で使えないと困ると思います。予算に補助金がないと負担が大きくなり、蟹江町として困ることになるので町長に頑張ってくださいたいです。

(町長)

通信障害を起こした会社を悪くいうつもりはないですが、ルーターを変える時のヒューマンエラーであるとも言われています。NTTもKDDIもそうですが、ユーザーを軽視した通信業界のディスカウント会社のようになり、ルーターを新しくする時にバックアップをきれいに取らずにやったことが通信障害の原因だと言われています。

小中学校のタブレットについて、買取の部分とリースの部分があります。どこかで必ず補助金が付くと思っています、付けて見せます。お金がある自治体は出来て、ないところは出来ないという、教育に格差がついては絶対にあってはいけないと思います。

(太田教育委員)

タブレットの話になりましたが、教育委員会、紙をなくしてタブレットにしませんか。というのは、今日の資料をわざわざ配達する必要がなくなりますし、手元に置いておくことなくデータとして保存できます。いかがでしょうか。

(町長)

開かれた議会ということでタブレット端末を議員さんに使ってもらっています。行政が同じことをすると莫大なお金がかかります。これが全て地方自治体の負担になるととても税金だけでは賄えません。

だからやらないのではなく、AI-OCR等ITをさまざまなものに導入しています。例えばマイナンバーカードを使って住民票をコンビニで出せるようにしています。蟹江町ではマイナンバーカードを持っている人は42%です。保険証代わりにできますが、個人情報がありますので何かあったときに誰が責任をとるのだ、ということになります。地方自治体というのはセキュリティを重視すればするほどお金が必要となります。個人情報を扱うものは慎重にやっていきたいです。徐々に変えていくべきだとは思いますが、予算の面も含めしっかり検討していきたいです。議会事務局は年間300万と言っていましたが400万、500万、700万、1000万となる可能性もあり、これ以上変えていいのかという意見も出てくると思います。タブレットの画面を見せるために大型デジタルサイネージを置くとまたお金がかかり、議事堂すべてルーターを置く等になると情報の漏洩も考えられます。それらの事情もあり、県議会もやりたいけどやれない状態であります。私はタブレットの方がいいと思いますが、紙も必要だと思うので二刀流でいきたいと思っています。

(教育長)

4月になってから初任者、2年目、3年目の先生の授業を見に行くと、タブレットを使う先生と全く使わない先生がいました。若い先生ほどタブレットを使っていました。

2年生がタブレットを使い、国語のスイミーという物語の要点をまとめる授業をしていました。ほとんど1時間タブレットを使っており、2年生でこれだけ使えるのかと驚きました。教務の先生に聞いたところ、3クラス中他の2クラスの先生も扱えるというわけではなく、物はあるけれど使いこなせる指導者が追い付いていないようで、そのあたりをどうしていくのが課題です。

不登校の発生件数について、今年度スクールソーシャルワーカーを配置しましたが、さらに充実させる方向で考えています。本人の問題や、家庭の問題等、後ろの背景は様々ですが、少しでも多く対応できる支援の仕方を考えていきたいと思っています。少しずつ予算を回していただきたいと思っています。

(町長)

さまざまな意見が出て有難いことですのでしっかりと予算を含めて進めてもらいたいと思います。

AIを使った色々なものが日進月歩で進んでいます。質問してもらえればしてもらうほど人工知能、データが蓄えられます。これからはマイナンバーカードが主流になってきます。申請するとマイナポイントで1万5千円もらえますが、医療機関では保険証として使えるところが限られています。マイナンバーカードを持っていると全てができるわけではないですが、住民票と印鑑証明だけはコンビニで出るようになりますので、そういった時代が来ることをご理解いただき、セキュリティについてはより強固なものを作っていきます。

教育委員の皆様にはしっかりアドバイスをいただき、予算の確保はしっかり私がしていきますので、より良い教育現場にしていきたいと思っています。